

結 果 の 概 要

1 結果の要約

(1) 出生数は減少

出生数は 3,622 人で、前年の 3,759 人から 137 人減少し、出生率（人口千対）は 5.7 で、前年の 5.9 を下回った（全国第 16 位）。

合計特殊出生率は 1.43 で、前年の 1.46 を下回った（全国第 3 位）。第 1 位は沖縄県（1.54）、第 2 位は福井県（1.46）、第 3 位は鳥取県、島根県、宮崎県（1.43）である。

(2) 死亡数は減少

死亡数は 10,440 人で、前年の 10,461 人から 21 人減少した。死亡率（人口千対）は 16.5 で、前年の 16.3 から 0.2 増加した（全国第 9 位）。

死因別にみると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は老衰、第 3 位は心疾患となっている。全死亡に占める割合はそれぞれ 22.7%、13.8%、12.6%である。

(3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△6,818 人で、前年の△6,702 人から減少数が 116 人増加し、自然増減率（人口千対）は△10.8 で、前年の△10.5 より減少率が 0.3 増加した（全国第 35 位）。本県では平成 4 年以降、死亡数が出生数を上回る自然減が続いている。

(4) 死産数は増加

死産数は 90 胎で前年の 65 胎より 25 胎増加し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は 24.2 で、前年の 17.0 を上回った。死産率のうち、自然死産率は 14.0（前年は 10.7）、人工死産率は 10.2（前年は 6.3）となっている。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は、1,982 組で、前年の 2,095 組から 113 組減少し、婚姻率（人口千対）は 3.1 で、前年を下回った（全国第 41 位）。

平均初婚年齢は夫 30.5 歳、妻 29.3 歳で、夫は前年より 0.5 歳上昇、妻も前年より 0.4 歳上昇した（全国平均は夫 31.1 歳、妻 29.8 歳で、夫

は前年と同じ、妻は前年より 0.1 歳上昇した)。

(6) 離婚件数は増加

離婚件数は 830 組で、前年の 799 組から 31 組増加し、離婚率（人口千対）は 1.32 で前年の 1.25 を上回った（全国第 40 位）。

表 1 人口動態総覧

		実数			率		平均発生間隔	
		令和6年	令和5年	対前年増減	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年
出	生	3,622	3,759	△ 137	5.7	5.9	2時間25分6秒	2時間19分49秒
死	亡	10,440	10,461	△ 21	16.5	16.3	50分20秒	50分14秒
乳 児	死 亡	3	9	△ 6	0.8	2.4	121日16時間	40日13時間20分
新 生 児	死 亡	1	4	△ 3	0.3	1.1	365日	91日6時間
自 然	増 減	△ 6,818	△ 6,702	△ 116	△ 10.8	△ 10.5	…	…
死	産	90	65	25	24.2	17.0	4日1時間20分	5日14時間46分9秒
自 然	死 産	52	41	11	14.0	10.7	7日27分41秒	8日21時間39分30秒
人 工	死 産	38	24	14	10.2	6.3	9日14時間31分34秒	15日5時間
周 産 期	死 亡	14	11	3	3.9	2.9	26日1時間42分51秒	33日4時間21分49秒
妊 娠 22 週 以 後	の 死 産	13	7	6	3.6	1.9	28日1時間50分46秒	52日3時間25分42秒
早 期 新 生 児	死 亡	1	4	△ 3	0.3	1.1	365日	91日6時間
婚	姻	1,982	2,095	△ 113	3.1	3.3	4時間25分11秒	4時間10分52秒
離	婚	830	799	31	1.32	1.25	10時間33分15秒	10時間57分49秒

	令和6年	令和5年
合計特殊出生率 *	1.43	1.46

* 分母に用いた人口
5歳階級別総人口（総務省推計）

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。

死産率は出産（出生＋死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満 22 週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満 22 週以後の死産）千対である。